

平成26年5月30日

各研究科長 殿

理事
東 島 清

博士論文における剽窃の防止に関する申合せについて（通知）

平成26年5月16日付けリスク管理担当理事・研究公正委員会委員長名通知「論文剽窃チェックツール「iThenticate」の導入について」（以下、「リスク管理担当理事等通知」という。）により、本学に論文上の剽窃を確認するための支援ツール「iThenticate」（以下、「ツール」という。）が導入されることになりました。

ツールの導入目的は、昨今問題となっている研究論文作成における不正行為を防止することにあります。博士論文においても剽窃の防止は大変重要であることから、これを博士論文の作成指導にも活用することとし、別紙「博士論文における剽窃の防止に関する申合せ」（以下、「申合せ」という。）を定め、博士論文審査においては原則ツールによる剽窃確認を行うこととなりましたので、よろしくお願いします。

なお、当該申合せについては、平成26年5月20日開催の教育課程委員会で承認され、翌日の21日に開催の部局長会議でも説明をしていることを申し添えます。

また、各研究科におかれては、下記の事項にご留意のうえツールの利用体制について検討・整備くださるよう併せてお願いします。

記

- ツールの利用範囲等は、リスク管理担当理事等通知の範囲内での運用となります。
- 各研究科においては、博士論文の指導又は論文審査委員会委員に就任することが見込まれる教員の、ツール使用のためのユーザー登録をお願いします。
- 6月20日（金）に「iThenticate ユーザー説明会」が開催されますので、該当する教員は可能な限り参加されるようご案内します。
- 別添申合せに定める、審査委員会が研究科教授会に審査結果を報告する際の方法については、統一した様式等は特に定めませんので、各研究科でご検討願います。
また、審査結果要旨への剽窃確認に係る記載は不要とします。
- 各研究科長から総長への学位授与の議決の報告の際には、該当の様式（様式6「学位授与判定報告書」）に「剽窃の確認」欄を設け、剽窃確認を行ったことを報告していただくこととします。

【担当】

大阪大学学生部学務課学務係

TEL: 06-6879-7107（内線 3124）

E-mail: gakusei-gakumu-gakumu@office.osaka-u.ac.jp

博士論文における剽窃の防止に関する申合せ

平成26年 5月20日
教育課程委員会決定

(趣旨)

第1条 この申合せは、本学の学位を与えるに相応しい学術的価値を有した博士論文を審査するため、論文作成における剽窃の防止を目的に必要な事項を定めるものとする。

(総則)

第2条 博士論文の審査方法については、大阪大学学位規程（以下「学位規程」という。）及び各研究科が定める論文審査についての申合せ等のほか、この申合せの定めるところによる。

(剽窃の確認)

第3条 学位規程第9条に規定する審査委員会は、当該論文における剽窃を確認の上審査を行い、審査結果を研究科教授会に報告しなければならない。

- 2 前項の確認は、審査委員会の委員が、大学が導入する論文剽窃チェックツール「iThenticate」（以下「ツール」という。）を用いて行うものとする。
- 3 前項による確認が困難な場合は、適宜これに代わる方法により確認するものとする。
- 4 学位申請者の指導教員が審査委員会の委員となる場合で、当該指導教員が学位申請以前に前2項に規定する方法により剽窃を確認した場合は、第1項に規定する確認に代えることができるものとする。

(ツールの運用に関する検証及び改善)

第4条 博士論文の審査におけるツールの運用に関しては、教育課程委員会において検証を行い、必要に応じて改善を図るものとする。

(雑則)

第5条 この申合せに定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この申合せは、平成26年6月1日から施行し、平成26年12月1日以降に各研究科長が受理する博士論文から適用する。